

# 手紙 三

宮沢賢治

青空文庫



普通ふつう中学校などに備え付けそなてある顕微鏡けんびきようは、拡大度かくだいどが六百倍ばい
  
ないし乃至八百倍ぐらいまでですから、蝶ちようの翅はねの鱗片りんぺんや馬鈴薯ばれいしょの澱で
  
んぶんりゆう粉粒ふんりゆうなどは実じつにはつきり見えますが、割合わりあいに小さな細菌さいきん
  
 などにはよくわかりません。千倍ぐらいになりますと、下のレンズ
 の直徑ちよつけいが非常ひじょうに小さくなり、従したがつて視野しやに光があまりはい
 らなくなり、下のレンズを油あぶらに浸ひたしてなるべく多くの光
 を入れて物ものが見えるようにします。

二千倍という顕微鏡は、数も少くまたこれを調節ちようせつすることが
 できる人も幾いくにん人もないそうです。

いま、一番度の高いものは二千二百五十倍あるい或は二千四百倍と云いい

ます。その見<sup>み</sup>得<sup>う</sup>るはずの大きさは、

○、○○○一四<sup>ミ</sup>耗<sup>リ</sup>

ですがこれは人によ

つて見えたり見えなかつたりするのです。

一方、私<sup>ども</sup>共<sup>め</sup>の眼<sup>かん</sup>に感<sup>かん</sup>ずる光<sup>はちよう</sup>の波<sup>は</sup>長<sup>ちよう</sup>は、

○、○○○七六<sup>ミ</sup>耗<sup>リ</sup>

(赤色)

乃至<sup>ないし</sup>

○、○○○四<sup>ミ</sup>耗<sup>リ</sup>

(堇色)

ですか

ら

これよりちいさなもの<sup>かんぜん</sup>の形<sup>かたち</sup>が完<sup>かん</sup>全<sup>ぜん</sup>に私<sup>ども</sup>共<sup>め</sup>に見<sup>み</sup>えるはずは決<sup>けつ</sup>して  
ないのです。

また、普通<sup>ふつう</sup>の顕<sup>けん</sup>微<sup>び</sup>鏡<sup>きよう</sup>で見<sup>み</sup>えないほどちいさなものでも、ある装<sup>そ</sup>  
置<sup>ち</sup>を<sup>くわ</sup>加<sup>くわ</sup>えれば、

約〇、〇〇〇〇〇五耗（ミリ） くらいまでのも

のならばぼんやり光る点になつて視野（しや）にあらわれその存在（そんざい）だけを（しめ）示します。これを超絶顕微鏡（ちやうぜつけんびきやう）と云（い）います。

ところがあらゆるものの分割（ぶんかつ）の終局（しゆうきよく）たる分子の大きさは水素（いそ）が、

〇、〇〇〇〇〇〇一六耗 砂糖（さとう）の一種（いっしゆ）

が

〇、〇〇〇〇〇〇五五耗 というように

計算（けいさん）されていきますから私共は分子の形や構造（こうぞう）は勿論（もちろん）その存在（そんざい）在（い）さえも見得（みえ）ないのです。

しかるに、このような、或は更（あるいさら）に小さなものをも明（あきら）に見て、すこ

しもあやま誤らない人はむかしから決けつして少くありません。この人たち  
は自分のこころを修おさめたのです。

# 青空文庫情報

底本：「ポラーノの広場」角川文庫、角川書店

1996（平成8）年6月25日初版発行

底本の親本：「新校本 宮澤賢治全集」筑摩書房

1995（平成7）年5月

入力：ゆうき

校正：noriko saito

2009年7月16日作成

2009年8月15日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。



# 手紙 三

宮沢賢治

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>